

市区町村名	柏崎市	担当部署	財務部財政管理課
		電話番号	0257-21-2364

1 取組事例名
デジタル予算書

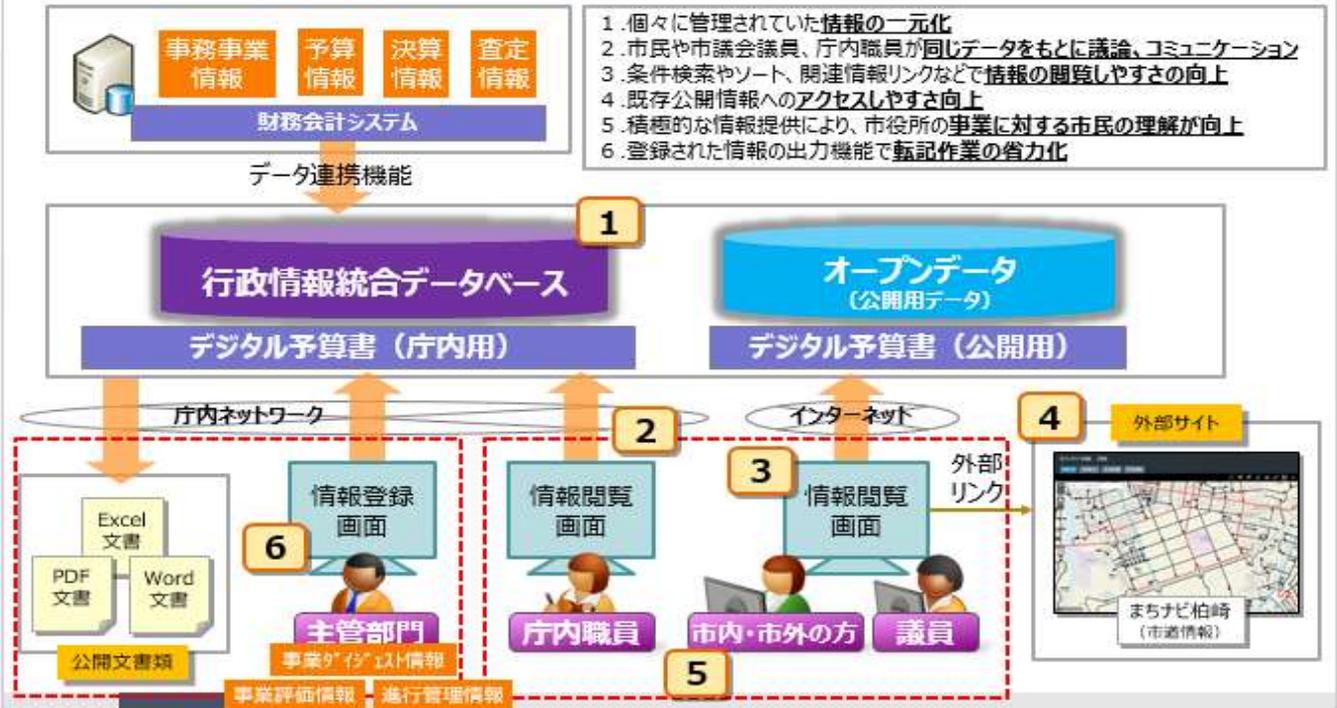
2 取組期間
令和2年度～（継続中）

3 取組概要
<p>・世の中が急速にデジタル化する中で、行政分野は書面・押印・対面主義が重要視され、デジタル化が大変遅れている。予算書や決算書にしても電子データでの公開は行っているが、非常に分かりにくく、旧態依然としている現状である。そこで「デジタル予算書」を用いて、予算・決算、行政評価等の行政情報を統合データベース化するとともに、行政の情報をもっと分かりやすく、積極的に公開することで、市民の行政への関心を高め、参加を促進することを目的として開発した。</p>

4 背景・目的
<div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>《デジタル予算書を検討するに至った理由》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 世の中が急速にデジタル化する中で、「行政分野はデジタル化が非常に遅れている」 ■ 予算書にしても電子データ（PDF）での公開は行っているが、従来のフォーマットを踏襲しており、「非常に分かりにくく、旧態依然としている」 ■ デジタル化することで、「行政の情報公開はもっとわかりやすく、見える化」できる </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">  <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 5px 20px; display: inline-block;"> 行政はもっとデジタル技術を積極的に活用していくべきである </div>  </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 10px;"> <p>《デジタル予算書のコンセプト》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「施策」、「事務事業」、「予算項目（科目別）」といった様々な角度から「シンプルに閲覧できる」 ・「検索」や「ソート」、「絞り込み」といった「デジタル技術が得意とする機能の充実」 ・「地図情報」、「写真」といった数値以外の情報を用いた「分かりやすさ」 ・庁内でバラバラに「Excel」や「システム」で管理されていた「情報の一元管理」 </div>

5 取組の具体的内容

柏崎市デジタル予算書は、予算・決算、行政評価等の行政情報を統合データベース化することにより、洗練された行政経営を支援するとともに、公開可能なものについてインターネットを介して市民へ積極的に情報公開し、市民の行政への関心を高め参加を促進することを目的として開発しました。



デジタル予算書画面例（目的別の項目）

柏崎市 デジタル予算書

ようこそ develop さん

■「事務事業報告関連」の情報閲覧

- 目的別の項目 (予算書)
- 重点事業の確認
- 事業に関連した地区別・URLの情報
- 予算ができるまで (査定経路)

■「進捗管理表関連」の情報閲覧

- 総合計画の進捗状況の確認

目的別の項目 (予算書)

年度	会計	部	課	目	細目											
2018	すべて	すべて	すべて	すべて	すべて											
絞り込み																
重点事業	新設事業	ハード事業	事業キーワード	決算	比較年度											
○	すべて	すべて	すべて	2018	比較年度											
「選択」列の「詳細」ボタンをクリックすると、詳細情報のページを表示します。																
会計名称	支庁	項名	目名	細目名	細目口名	部	課	事業種別	ハード事業	事業キーワード	重点事業	選択	比較年度	前年度予算	今年度予算	執行率
民生費	社会福祉費	老人福祉費	老人福祉生活支援事業	高齢者向け安心生活支援推進事業	介護支援課	福祉	ソフト事業	介護福祉、介護、社会福祉、福祉、民生				選択	2017	1,375,000	590,000	36.8%
												2018	1,375,000	1,220,000	77.5%	
												2017	737,000	1,081,230	146.7%	
												2018	886,000	1,129,737	126.8%	
												2019	828,000	943,824	95.7%	
												2017	292,714,000	270,670,893	92.5%	
												2018	313,900,000	296,618,725	94.5%	
												2019	223,000,000	304,046,784	94.1%	
												2017	5,342,500	4,030,823	75.5%	
												2018	5,408,500	4,166,962	77.1%	
												2019	6,174,000	5,064,720	82.0%	
												2017	51,989,000	51,962,945	99.8%	
												2018	50,166,000	50,146,722	100.0%	
												2019	52,212,000	52,187,831	100.0%	

目的別の項目（予算書）や重点事業の確認など、各メニューから知りたい情報を閲覧できる。

デジタル予算書画面例（事業照会画面）

事務事業詳細

年度: 2021 | 重点事業

総合計画の施策との関連

基本方針名称	施策名称	主要施策名称	事務事業名称
①防災・生活・環境～『暮らしさ』をつなぐまちをめざして～	①-1市民の生活を守る『暮らしさ』をつくる	①-1-2自然災害に備えた対策を進める	河川の治水事業

事業の紹介 | 財源情報 | 実績と取組み

事業概要

事業目的

予算額(円)

124,900,000

浸水被害の発生している地域の河川改修工事および河川沿道の整備工事を行います。
例：下野川（しものがわ）（大字女谷）の河川改修工事の様子です。

改修工事前 | 改修工事後

市総合計画の基本方針・施策との関連や、実際の事業内容の説明を写真やイラストと合わせ、一目で確認できる。

デジタル予算書画面例（財源情報）

事務事業詳細

年度: 2020 | 重点事業

総合計画の施策との関連

基本方針名称	施策名称	主要施策名称	事務事業名称
①健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～	①-3誰もが安心できる『健やかさ』暮らしをつくる	①-3-2高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる	高齢者向け安心住まいの整備補助事業

事業の紹介 | 財源情報 | 実績と取組み

会計科目

会計CD	科目	部CD	科目
01	一般会計	03	民生費
01	社会福祉費	03	老人福祉費
002	老人在宅生活支援事業	009	高齢者向け安心住まいの整備補助事業

年度別の予算・決算比較および不用額

予算と実績の財源内訳

【年度別予算・決算額一覧】

年度	2019	2020
予算額	1,575,000	1,575,000
決算額	1,080,000	225,000
不用額	525,000	1,350,000

【財源内訳一覧】

年度	2019	2020
予算 一般財源	766,000	766,000
予算 国庫支出金	787,000	787,000
予算 市債	0	0
予算 その他	0	0
決算 一般財源	527,000	113,000
決算 国庫支出金	523,000	112,000
決算 市債	0	0
決算 その他	0	0

事業別に、過去3カ年の予算・決算・財源情報を把握できる。

デジタル予算書画面例（事務事業評価）

事務事業実績、評価の内容を集約して他の情報と共に確認できる。

6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

- ・紙の予算書では、細かい文字や数字が並び、予算書を見慣れていない方にとっては興味がある事業を検索することや事業の内容を確認することが困難であった。デジタル予算書では、款項目、担当課などの検索機能に加え、事業キーワードや中学校区単位の地区情報を設定することで様々な角度から検索や絞り込み機能を駆使し、より分かりやすく目的の情報調べることができる。
- ・予算書には掲載していない事業の概要・目的を登録しており、さらに市がピックアップした重点事業には事業の内容をイメージしやすくするための画像やイラストそして地図情報を登録することで、事業の理解や関心が高まる。また、年度が終了した後は、事業ごとに実績・評価などが追加され、分かりやすい形で情報が一元化されている。



7 取組の効果・費用

<取組の効果>

1. 個々に管理されていた**情報の一元化**
2. 市民や市議会議員、庁内職員が**同じデータをもとに議論、コミュニケーション**
3. 条件検索やソート、関連情報リンクなどで**情報の閲覧しやすさの向上**
4. 既存公開情報への**アクセスしやすさ向上**
5. 積極的な情報提供により、市役所の**事業に対する市民の理解が向上**
6. 登録された情報の出力機能で**転記作業の省力化**

<費用>

開発費用：約 3,000 万円

保守管理費：約 400 万円（年間）

情報の一元化

WingArc ^{IST}
The Data Environment Company



Copyright © 2021 WingArc-Ist Inc. All Rights Reserved.

5

8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦労した点）

- ・担当部署において事務事業情報等を入力する際に、「市民への説明資料」としてわかりやすい表現をしなければならず、公開情報の表現方法に苦慮した。
- ・市民にわかりやすい表現をするため、写真・イラスト・地図情報などのビジュアルな情報を追加するようルール付けを行ったが、担当所属から、どのような写真やイラストを入れればよいかという質問が多く挙がった。

9 今後の予定・構想

- ・世の中が急速にデジタル化する中で、行政分野のデジタル化のモデルケースとして、柏崎市で生まれたデジタル予算書を全国の自治体と共有し、活用を広げていくことで新たなアイデア・発想をいただきながらシステムをブラッシュアップし、より分かりやすく、使いやすいシステムへと構築を進めていきたい。
- ・デジタル予算書の活用をはじめ、デジタルとアナログを融合させ、市民に分かりやすく安心できる質の高い行政サービスを提供していきたい。

デジタル予算書を使って・・・

デジタル と **アナログ** の融合
合理 と **非合理**
安全・think と **安心・feel**
専門性（詳しい）職員 と **一般性（分かりやすい）市民・議員**
量quantity と **質quality**

10 他団体へのアドバイス

- ・できるだけたくさんの自治体に関心を持ってもらい、『うちもやりたい』と声を上げてほしいです。そのためにも柏崎市で『デジタル予算書』の改良を重ねながら、より活用しやすいデータベースにしていきたいと思っています。

11 取組について記載したホームページ

<https://www.city.kashiwazaki.lg.jp/soshikiichiran/zaimubu/zaiseikanrika/1/24644.html>